

# 貿易投資相談ニュース

2025年4月 Vol.284

多摩信用金庫 海外事業支援部 住所：〒190-8681 東京都立川市緑町3-4

<https://www.tamashin.jp/>



## 今月の見出し

1. 世界の主要ニュース
2. たましん公表外国為替相場
3. 【たましん駐在員レポート】～インドネシアを訪問して～



## 世界の主要ニュース

### 2024年の農林水産物・食品輸出額、1兆5,000億円超え（日本）

財務省貿易統計に基づく2024年の農林水産物・食品輸出額は前年比3.7%増の1兆5,073億円となった。輸出額上位3カ国・地域は、1位が米国（2,429億円、前年比17.8%増）、2位は香港（2,210億円、6.6%減）、3位は台湾（1,703億円、11.2%増）だった。2021年以降、最大の輸出先だった中国は4位（1,681億円、29.1%減）となり、20年ぶりに米国が首位となった。米国向けでは、アルコール飲料、プリ、ホタテ貝が上位3品目になった。また、緑茶やソース混合調味料の輸出も好調

であった。米国でアルコール飲料が好調な要因として、長期化した日本酒の在庫調整が落ち着いたことや、外食需要が高まったことなどが挙げられる。香港向けでは、真珠やホタテ貝の輸出が減ったものの、アルコール飲料の輸出が増加した。台湾向けの輸出では、リンゴの増加率が最大となった。日本政府は、2025年までに農林水産物・食品の年間輸出額を2兆円、2030年には5兆円に拡大する目標を掲げており、今後も輸出拡大が期待されている。

### 上海港、2024年の自動車取扱量が世界首位に（中国）

中国税関総署の最新データによると、2024年の中国製自動車の輸出台数は640万台を突破し、自動車取扱量が世界1位となった。また、上海港では2024年の自動車輸出台数が前年比15%増の363万台となり、自動車輸出の取扱量が初めて世界1位となった。上海港は200以上の国・地域、700を超える港湾との航路を持っており、2024年のコンテナ取扱量は5,000万TEU（1TEUは20フィートコンテナ換算）超と世界最

多記録を更新した。最近是中国自動車メーカーの輸出が急増しており、2024年の自動車輸出台数は前年比19.3%増の585万9,000台だった。輸出台数の上位10社をみると、8位のテスラを除いた全てが中国企業である。ガソリン車の市場が急速に縮小しており、日系自動車メーカーが苦戦している中国市場であるが、中国自動車メーカーと取引を開始する外資企業も増加しており、今後の動向は世界的にも注目されている。

### 日本への労働者派遣の目標を25万人へ（インドネシア）

インドネシア政府は日本への労働者派遣目標を現在の10万人から25万人に拡大する計画を発表した。この取り組みは日本が「特定技能ビザ」の受け入れ枠を拡充したことにより、インドネシア人労働者の需要が高まったことを受けてのものである。インドネシアの労働大臣は介護士や看護師について資格認定の相互承認を検討したいとしており、イン

ドネシアで取得した資格が日本でも認められることで、労働者がスムーズに就業できる環境を整備する目的がある。日本での就業経験を通じて労働者が新たなスキルを身につけ、その知識や経験をインドネシア国内でも活かして活躍することができる。また、日本における人材不足を補うために、インドネシア人材の活躍も期待されている。

## たましん公表外国為替相場

(2025年2月4日～2025年3月11日、TTSレート、単位：円)

日付	2/4	2/5	2/6	2/7	2/10	2/12	2/13	2/14	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21
米ドル	156.35	155.07	153.61	152.30	152.96	154.26	155.51	153.81	152.91	152.67	153.14	152.13	150.86
ユーロ	161.79	161.38	160.16	158.51	158.17	160.23	162.08	161.39	160.83	160.37	160.42	159.07	158.69
日付	2/25	2/26	2/27	2/28	3/3	3/4	3/5	3/6	3/7	3/10	3/11	最安値	最高値
米ドル	151.23	149.92	150.24	150.67	151.56	150.26	150.87	150.25	149.07	148.38	147.68	147.68	156.35
ユーロ	158.63	158.17	157.87	157.09	158.23	157.96	160.74	162.72	161.23	161.62	160.59	157.09	162.72

最新の外国為替相場はたましんホームページをご確認ください。( [https://www.web-tamashin.jp/ex\\_rate/](https://www.web-tamashin.jp/ex_rate/) )



# 【たましん駐在員レポート】

## ～インドネシアを訪問して～

たましんでは2024年4月～12月まで海外トレーニーを行いました。第6弾となる今回はインドネシアの基本情報や最新の経済情勢等の調査を行い、筆者の視点でご紹介いたします。



### 基本情報

インドネシアの正式名称は「インドネシア共和国」であり、面積は約 189 万km<sup>2</sup>（日本の約 5 倍）、人口は約 2 億 8 千万人で世界 4 位の多さです。公用語はインドネシア語ですがインドネシアは約 18,000 の島から構成されており、300 以上の種族がいるといわれているためジャワ語やスダ語など各地域に言語が存在しています。宗教については国民の 9 割近くがイスラム教徒（ムスリム）といわれています。

### インドネシアの特徴

インドネシアの特徴として、世界最大のイスラム人口を有しているという点が挙げられます。イスラム教では豚肉やアルコールが禁止されている「ハラール」や断食を行う「ラマダン」、その他一日 5 回の礼拝を行うなどの戒律があります。一方で、インドネシアにおけるイスラム教の信仰心は中東に比べ厳しくなく、人によってはお酒を楽しむこともあり、礼拝も一日に 1 回しか行わないという人も少なくない印象です。街中のスーパーでもノンハラールのコーナーには豚肉やお酒も陳列されています。

### 最近の経済について

インドネシアは ASEAN の中で 1 位の人口の多さを誇っており、GDP 成長率も約 5%を維持しているため、経済は堅調に成長しているといえます。最近では中国などの外資企業を中心に現地生産が進んでおり、日系自動車メーカーも追随しています。LCEV（低炭素排出車）の販売奨励を目的とした税制優遇もあり、インドネシア政府としても EV 車を推進しています。中心地のジャカルタ市街では渋滞緩和対策や大気汚染対策を目的として、車両のナンバープレートの奇数・偶数によって特定の道路が通れない時間帯がありますが、EV 車は対象外となっており常時通行が可能です。他方で EV 車の価格は中国メーカーを中心に低価格化が進んでいるものの、インドネシア人にとっては価格水準が高く、普及に向けては所得水準とのミスマッチから課題も残っています。

最近では日本で就労するインドネシア人も年々増加しています。背景には外国人材で一番多いといわれているベトナム人材獲得の競争激化が挙げられ、人件費が比較的安価なインドネシア人材が注目されています。ただし、左記でも触れたようにインドネシア人はムスリムも多く、雇用主にとっては信仰心の度合いを事前に確認することも大事な要素であると言えます。

インドネシアは交通渋滞や大気汚染といった社会課題や地政学リスクを踏まえた首都移転の課題もありますが、人口の多さなどポテンシャルを秘めている国でもあります。この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。



<インドネシアの日本人学校>

海外事業支援部 田中

本ニュースは情報提供のみを目的としています。

施策実施等に関する最終決定は、ご自身で判断されるようお願い致します。また、これらの情報は当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて作成されていますが、その正当性・完全性につきましては当金庫が保証するものではありませんのでご了承ください。

本ニュースのデジタル版はこちら

